

学校教育と学校評価

四天王寺高等学校
四天王寺中学校
学校評価検討委員会
委員長 川瀬 武比古

学校評価は、文部科学省の主導の下、教育全体を見つめ直そうという意図で実施されてきました。その眼目は生徒・保護者・教師が三位一体となり、生徒がよりよい教育を享受できるようにという点にあります。この目的のために、学校設置者は教育活動の成果を検証して組織的・継続的に改善を図り、学校設置者および保護者も含めた学校づくりを進めていくことが重要となります。

上記方針の下、本校の「学校評価」の取り組み・実施は平成 20 年 4 月以来、12 年が過ぎ、令和 2 年 4 月で 13 年目を迎えようとしています。

具体的に学校評価とは

目標設定 (Plan) → 取り組み (Do) → 評価 (Check) → 改善 (Action)

という PDCA サイクルを指し、より良い教育活動に向けて毎年展開し、改善を図っていくというものです。

従って「評価」はもちろん評価自体に目的があるのではなく、将来にわたって学校が充実した教育活動を実施できるように、また学校が常にあらゆる場面で活動的であるために、その手段として評価するものであります。

本学園ではこの取り組みに際し、教育方針（目標）を基として、上記のサイクルを実施して学校評価を行って参りました。また実情に合うよう 28 年度にはアンケート項目の大幅改訂も実施しました。

今年度令和元年度につきましては、特に ICT 器機の導入という学校の新時代幕開けとなる年になりましたので、それに関する項目を先生の自己評価で入れました。

ただし電子黒板は全ての教室に導入されましたが、生徒のパソコン導入が現在初年度でまだ中学 3 年生と高校 1 年生にとどまり、生徒学校評価のアンケート項目に今年はまだ反映させませんでした。来年度以降の課題となります。

記述の項目の一つ「校則で改善すべき点」は、昨年のお返事が大変参考になりましたので、今年は「あって欲しい行事」を入れました。

報告にあたり、大勢の方々のご協力のもと、令和元年度のご報告が出来ますことを御礼申し上げますとともに、本報告が本校における教育の改善・充実につながる資料となり、また今後関係の皆様のお力添えを頂きますことを、心からお願い申し上げます。

1. 教育目標

四天王寺学園の設置母体である四天王寺は、推古元年（593年）、聖徳太子によって建立された日本仏教最初の大寺である。聖徳太子は四天王寺で仏教精神を礎とし、世の中の平和や繁栄の実現に貢献すべき人間育成を大志とした「四箇院の制」（悲田院・療病院・施薬院・敬田院）を設けられた。その敬田院が、慈悲救済を使命として生きる、立派な人格者を育成するという教育事業にあたる。

建学の精神は、「敬田院設立の精神」に示される「帰依渴仰 断悪修善 速證無上大菩提處」であり、菩薩のような人間像を範とする人間の育成によって、平和国家の実現と世の人々の幸福づくりを希求するものである。調和を目指す円満なる仏の境地である、「和の精神」を率先垂範できる人間を、世に送り出す教育こそが、尊い社会的使命・役割であり、教育目標である。

聖徳太子の和のご精神を礎とする信念ある女性の育成をはかる。

- (1) 円満で深い人間性をそなえた女性を育てる。
- (2) 将来希望する世界に力強く雄飛し得る学力を養成する。
- (3) 個性を充分伸長できる教育を行う。

2. 中期的目標 ～P l a n～

- (1) 学習や様々な体験を通して和の精神を学び、人間的成長を図る。
 - (ア) 学力の向上を通して冷静で柔軟な思考力を身につけさせる。
 - (イ) 毎日の活動や部活動・学校行事などを通じて協調性を育成する。
 - (ウ) 上記を通して四恩に報いる心、感謝の心、他を思いやる心を涵養する。
- (2) 学びの喜びを理解させ、将来に力強く雄飛し得る学力を養成する。
 - (ア) 教員の指導力、授業力のさらなる向上をめざし、保護者・生徒の信頼に応える。
 - (イ) 規律ある学校生活のもと、自主的・能動的に取り組める生徒を育成する。
 - (ウ) 学力の定着を図る小テスト・確認テストなど適宜実施する。
- (3) 生徒個々人が個性を充分伸長できる情報発信や教育を行う。
 - (ア) 進路指導部と一体になった教員の研究会・講習会参加を通して、十分な情報・知識の習得に努める。
 - (イ) 的確に生徒・保護者に情報を発信し、生徒・保護者の信頼に応える。

- (4) 規律正しい生活習慣の維持・継続を図る。
- (ア) 欠席・遅刻に対する対応をきめ細かく行う。
 - (イ) 登下校時の合掌・礼拝を励行させるよう心の教育を行う。
 - (ウ) 他に誇れるような、通学時のさらなるマナーの向上を図る。
 - (エ) 常に時間を守ることの大切さを意識させ、基本的な生活習慣の継続・維持を図る。
- (5) 様々な人権教育・学習を通して意識を高める教育を行う。
- (ア) あらゆる機会を通して人権教育・学習を実践し、人権尊重の精神を涵養する。
 - (イ) いじめを許さず、保護者・教員・生徒全員でこの問題に取り組む学校作りを目指す。
- (6) 危機管理マニュアルに則り、安全管理の意識を徹底させる。
- (ア) 防災体制を十分理解し、生徒の安全管理の徹底を図る。
 - (イ) 防災意識を高める教育を行う。
 - (ウ) 救命講習の機会を定期的に設ける。
- (7) 教員は自己の教育力向上を目指して積極的に研修等に参加する。
- (ア) 教科指導の向上をめざし、しかるべき研修に参加する。
 - (イ) 生徒指導上の知識やスキルを向上させるべく、研修などに参加する。

3. 項目における目標指数

今年度、基本とする目標指数（評価点） 4.5 以上

尚、4.5 を必要としないと考えられる項目に関しては、その点を考慮しつつ分析をすることとする。

※評価点の算出方法：評価点＝5×A 当てはまる（％）＋4×B やや当てはまる（％）
＋2×C あまり当てはまらない（％）＋1×D 当てはまらない（％）

令和元年度 本年度の取り組みに対する教師自己評価集計結果と分析

回答教員人数 : 163名

今年度の 重点取組目標 ～P l a n～	質問 NO	具体的な取組・内容 評価内容 ～D o～	評価点		A:当てはまる B:やや当てはまる C:あまり当てはまらない D:当てはまらない			
			30年度	令和 元年度	A	B	C	D
(1)学習や様々な体験を通して和の精神を学び、人間的成長を図る	1	毎日の学校生活が生徒の心の成長に繋がるよういつも心がけ、はたらきかけている。	4.7	4.7	75.5%	22.7%	1.2%	0.6%
	2	授業では生徒が深い関心や興味を持ち成長できるよういつも取り組んでいる。	4.6	4.8	75.5%	23.9%	0.6%	0.0%
	3	塔影祭（体育祭・文化祭）や部活動において、生徒の力を十分発揮させることが出来ている。	3.5	3.4	27.0%	38.7%	20.9%	13.5%
	4	和光館における講話を生徒に積極的に聴かせるよう指導できている。	3.4	3.4	32.1%	30.8%	18.9%	18.2%
	5	生徒会活動や部活動などいろいろな有意義な活動への参加を呼びかけている。	3.6	3.5	32.5%	35.6%	20.9%	11.0%
(2)学びの喜びを理解させ、将来に力強く雄飛し得る学力を養成する	6	授業に際しては十分な教材研究をいつもしている。	4.7	4.7	73.6%	23.3%	2.5%	0.6%
	7	応用力思考力がつくよう授業にいつも工夫を凝らしている。	4.3	4.6	59.1%	37.1%	3.8%	0.0%
	8	適宜小テストなど使い学習事項の定着を図っている。	3.8	3.8	40.3%	28.9%	23.9%	6.9%
	9	授業は生徒の反応を確認しながら進められている。		4.6	64.2%	33.3%	2.5%	0.0%
	10	授業でICT機器を活用している。		3.3	27.0%	29.6%	17.6%	25.8%
	11	授業は規律正しくできている。	4.6	4.6	63.5%	34.6%	1.9%	0.0%
	12	授業の進度は適切である。	4.5	4.4	52.2%	43.4%	4.4%	0.0%
	13	生徒一人一人の学習状況をしっかり把握できている。	3.9	4.0	24.5%	64.4%	9.2%	1.8%
	14	副教材など適切に活用できている。	4.3	4.4	59.1%	32.1%	6.9%	1.9%
	15	遅進者に適切なアドバイスや支援など、積極的に取り組んでいる。	3.9	3.8	25.2%	54.1%	16.4%	4.4%
	16	生徒に能動的な学習に向けたアドバイスができている。	4.3	4.2	44.2%	45.4%	9.8%	0.6%
(3)生徒個々人が個性を充分伸ばせる情報発信や教育を行う	17	生徒の希望、疑問、不安などに対してよく耳を傾け、アドバイスを適切に行っている。	4.5	4.6	61.3%	35.6%	3.1%	0.0%
	18	成績資料や模試結果などを生徒に対して適切に効果的に利用できている。	3.6	3.5	22.7%	44.8%	22.7%	9.8%
	19	キャリア講座を始め、あらゆる情報を生徒保護者が利用できるよう徹底している。	3.2	3.1	27.6%	25.8%	24.5%	22.1%

教師自己評価集計結果に対する分析 ～C h e c k～

(1) 学習や様々な体験を通して和の精神を学び、人間的成長を図る

どの項目も大きな変化は無い。1, 2は教師の心構えというべき項目で、自己評価とはいえ4.5以上で好ましく、これを続けたい。

3, 4, 5も変化は無い。機会のある毎の指導となり、そのためもあってか指数は低いが、目標指数としては4.0ほどか。昨年と同じ分析になるが、いろいろな行事の折に積極的に関わる気持ちが、生徒同様大切になる。

(2) 学びの喜びを理解させ、将来に力強く雄飛し得る学力を養成する

毎年分析するように、6, 7は、生徒学校評価の6, 7との関連でとらえる必要がある。生徒学校評価の昨年の同種の項目（昨年は5「授業で教材や教え方にさまざまな工夫をしている先生が多いと感じますか」、6「本校の多くの授業は内容が充実しており、また理解が出来るように工夫されていると思いますか」）では、一昨年と比べて大幅な改善が見られたが、今年は昨年よりやや指数を下げた。その結果、生徒の思いと教師の自己評価に、乖離とまではいかないが、ややひらきがある。

教員は常に独善や押しつけに陥ることのないよう、自己を反省し、また研鑽に努める必要があるが、隔たりを縮める手がかりとして、後で触れるが、項目9, 10, 13あたりに手がかりがあると思われる。

8は授業によっては小テストを必要としないということもあって、妥当な数値か。

9は新項目として入れた。手前に記した「独善」や「押しつけ」になっていないか、チェック項目として入れる。

数値は高いが、授業での教師の『手応え』であって、確たる裏付けのある数値では無い。

実際に確認しながら授業を進めようとするならば、何らかの工夫が必要と思われるが、今後、全学年にパソコンが導入されることによって、授業における双方向の発信が可能となり、裏付けある「手応え」を確認しながら授業が進められるようになるのではないか。

今後、そういうアプリの導入が必要と思われる。

13に関しても、上記が可能になれば、必然的に改善する数値と思われる。

他項目の11, 12, 14, 16は前年と同様で、問題なさそうだ。

(3) 生徒個々人が個性を充分伸長できる情報発信や教育を行う

17は0.1だがポイントの向上があった。今後も同じように対応したい。

18は前項で記したように、パソコンの導入により、またClassiの活用で、今後、効果的な指導が可能になると思われ、パソコン導入後の教員のさらなる取り組みが必要で、今後の課題だ。

19は、進路指導部によるキャリア講座の取り組みや情報発信が生徒・保護者の方によく理解されていて、教員個々人がそのバックアップに入るということで、指数はそう高くないと思われる。

今年度の 重点取組目標	質問 NO	具体的な取組・内容 評価内容	評価点		A:当てはまる B:やや当てはまる C:あまり当てはまらない D:当てはまらない			
			30年度	令和 元年度	A	B	C	D
(4)規律正しい 生活習慣の維持・継続を図る	20	正しい制服・頭髪などについてしっかり指導している。	3.8	4.0	37.4%	43.6%	13.5%	5.5%
	21	欠席・遅刻に対してきめ細かく対応している。	4.1	4.1	49.1%	35.6%	11.0%	4.3%
	22	登下校時の合掌・礼拝を機会がある毎に励行させる指導を行っている。	3.5	3.7	41.1%	27.0%	19.0%	12.9%
	23	通学時の路上や電車内のマナーについて十分指導している。	3.5	3.6	31.9%	38.0%	19.0%	11.0%
	24	校内美化の徹底を図る指導をしている。	3.9	3.9	41.1%	34.4%	16.6%	8.0%
	25	常に時間を守る指導を行っている。	4.5	4.4	60.7%	31.9%	6.1%	1.2%
	26	生徒指導は常に教師全員が情報を共有する意識を持ち、協働している。	3.9	4.0	39.3%	40.5%	13.5%	6.7%
	27	生徒個人々の状況の把握に努め、必要な場合の指導後は生徒のサポートを十分している。	4.0	3.9	40.5%	43.6%	11.7%	4.3%
	28	必要に応じて保護者との連携を十分にとっている。	3.4	3.5	39.9%	22.7%	17.8%	19.6%
(5)様々な人権 教育・学習を 通して意識を 高める教育を 行う	29	学級活動・教科活動で人権尊重の意識を高めるようしている。	4.1	4.1	50.9%	35.0%	6.1%	8.0%
	30	あらゆるいじめ・ハラスメントを許さない意識を徹底することができている。	4.4	4.4	61.3%	28.8%	6.7%	3.1%
	31	問題が発生した場合には教員全員で共有し、保護者との連携を強く意識し取り組んでいる。	3.8	4.0	46.6%	35.6%	12.3%	5.5%
(6)危機管理マ ニュアルに則 り安全の意識 を徹底させる	32	生徒への安全管理の広報(AEDの場所・気象警報時の対処など)と徹底を図っている。	3.6	3.6	30.1%	41.7%	17.2%	11.0%
	33	防災意識を高める教育(防災訓練・火災訓練など)を行っている。	3.9	3.9	39.9%	37.4%	15.3%	7.4%
(7)教科指導、 生徒指導上の 自己の知識や スキルを向上 させる	34	教科指導の向上を目指し、しかるべき研修などに参加した。	3.6	3.7	39.3%	30.1%	20.2%	10.4%
	35	生徒指導上の知識やスキルを向上させるべく、研修などに参加した。	3.0	3.1	25.8%	25.8%	28.8%	19.6%

(4) 規律正しい生活習慣の維持・継続を図る

20, 21, 24 は指数が 4.0 前後であるが、項目の内容はどれも日頃教員が生徒と関わる中で常に意識しなければならない項目で、目標指数はやはり 4.5 ということになるだろう。

当然だが、教員は常にどんな事柄にも注意を欠かしてはいけない。

22, 23 は、指導する機会に応じて、ということがあろう。やや指数は低いが、最初に記したようにここは 4.5 にこだわる必要はなさそうだ。

25 は、前年に 0.1 ダウンの 4.4 だが、大きな問題はなさそうだ。

26, 27, 28 も、その機会があつてということで、問題はないと思われる。

(5) 様々な人権教育・学習を通して意識を高める教育を行う

29 の「人権尊重」は主にホームルームでの授業になるが、前年同様、目標指数 4.5 より指数がやや落ちる。授業等の「教育活動」まで一緒にした質問項目で、4.5 の達成は難しかったかもしれない。

30 は望ましい数値が出ている。

31 も、その機会がある場合になり数値はそう高くないが、さしあたって問題はないであろう。

(6) 危機管理マニュアルに則り、安全管理の意識を徹底させる

32, 33 は前年と全く同じ数値。学校としての「取り組み」、という意識がややあるかもしれない。

実際の非常事態には、教員個々が組織の一員として適切な対応を迫られ、意識を高める定期的な研修会等が必要だ。

(7) 教員は自己の教育力向上を目指して積極的に研修等に参加する

最初に分析したように「常に自己を反省し、また研鑽に努める」ためには、教員自ら積極的に研修の機会を捉える必要がある。しかし前年同様、あまり前進が見られない。

I C T 器機の導入もあり、教員の意識改革が必要だ。

(本年度の分析結果のまとめと 次年度目標へ反映すべき項目) ~A c t i o n~

(一) 教員は、真摯に教育活動に取り組む姿勢を堅持しつつ、独善や押しつけに陥ることの無いよう、常に自己を省みる意識が必要である。

(二) 今後導入が進む ICT 器機や生徒のパソコンに対応した授業が展開できるよう、研修や情報交換をしっかりと行う必要がある。

(三) 教員は教科指導にとどまらず、生徒の学校生活、風紀、生徒指導のあらゆる場面で適切な指導ができるよう、積極的な関与と細かな心配りを欠かしてはならない。

(四) 必要に応じた面談や、また Classi を活用した生徒や保護者の方との意思疎通を充実させる必要がある。

(五) ICT 器機の研修会以外にも、教科指導・生徒指導・学校安全等の研修会へ、日頃の忙しさにまけることなく意識を高めて参加する必要がある。

令和元年度 生徒学校評価アンケート集計結果と分析

実施学年：高校二年 回答人数412名 中学二年 回答人数281名

指標の計算式：Aの人数割合×5+Bの人数割合×4+Cの人数割合×2+Dの人数割合×1

A:はい B:どちらかといえばはい C:どちらかといえばいい D:いい

※指標の数値が高いほどその項目について望ましい評価であるが、一部項目（18, 21）については数値が低いほど望ましい評価、またどちらとも言えない項目（24, 25, 27, 29など）があることにご留意ください。

NO	質 問		指標		A	B	C	D
			30年度	令和元年度				
1	学校では何事にも前向きに取り組んでいますか。	高校	4.3	4.1	41.0%	45.9%	10.7%	2.4%
		中学	4.4	4.2	40.9%	52.3%	5.0%	1.8%
2	学級活動や学校行事、また部活動に積極的に取り組んでいますか。	高校	4.4	4.3	57.0%	33.5%	7.3%	2.2%
		中学	4.6	4.3	55.9%	33.5%	8.9%	1.8%
3	学校行事で、あってほしいと思うものがありますか。あれば、下に書いてください。	高校		3.0	38.3%	10.2%	14.1%	37.4%
		中学		3.2	40.2%	13.9%	16.7%	29.2%
4	予習・復習等は十分していますか。	高校	3.5	3.1	11.7%	43.2%	34.5%	10.7%
		中学	3.9	3.7	19.9%	55.5%	22.8%	1.8%
5	課題や宿題はきっちり提出していますか。	高校	4.1	4.1	42.5%	43.9%	9.7%	3.9%
		中学	4.4	4.4	55.2%	37.0%	6.8%	1.1%
6	授業で教材や教え方にさまざまな工夫をしている先生が多いと感じますか。	高校	3.8	3.5	19.9%	49.0%	22.3%	8.7%
		中学	4.1	3.8	28.5%	49.8%	17.8%	3.9%
7	総合的に考えて授業に満足していますか。	高校	(3.9)	3.6	22.3%	46.4%	23.1%	8.3%
		中学	(4.1)	3.9	32.7%	52.0%	12.1%	3.2%
8	和光館における講話をしっかり聴いていますか。	高校	3.1	3.0	18.2%	35.0%	25.2%	21.6%
		中学	3.9	3.8	30.2%	45.6%	17.8%	6.4%
9	自分の進路に関してしっかり考えていますか。	高校	4.4	4.3	53.9%	35.2%	8.0%	2.9%
		中学	3.4	3.3	28.1%	30.6%	29.9%	11.4%
10	進路(中学は学習相談)について先生とよく相談しますか。また先生以外では誰と相談しますか。あれば下に書いてください。(「友達」などと書き、実名は書かないように)	高校	3.1	3.0	23.5%	25.5%	27.7%	23.3%
		中学	2.6	2.6	17.1%	22.8%	26.0%	34.2%
11	進路について保護者の方とよく相談していますか。	高校	4.3	4.2	55.8%	30.8%	10.9%	2.4%
		中学	3.5	3.4	29.2%	31.0%	28.1%	11.7%
12	正しい服装や髪型を心がけていますか。	高校	4.6	4.5	68.9%	25.5%	3.4%	2.2%
		中学	4.8	4.7	77.6%	19.2%	1.8%	1.4%
13	安易な遅刻や欠席をしないよう心がけていますか。	高校	4.8	4.6	76.9%	17.0%	3.2%	2.9%
		中学	4.9	4.8	85.1%	11.7%	1.8%	1.4%
14	登下校時の慈母観音様への合掌礼拝を励行していますか。	高校	4.5	4.5	73.3%	18.0%	5.3%	3.4%
		中学	4.9	4.7	81.5%	15.7%	1.8%	1.1%
15	登下校時のマナーに気を付けていますか。	高校	4.6	4.6	69.7%	26.0%	3.4%	1.0%
		中学	4.7	4.5	58.0%	37.0%	3.9%	1.1%
16	教室の整理整頓・美化に努めていますか。	高校	4.1	4.1	41.7%	41.7%	10.0%	6.6%
		中学	4.3	3.8	34.9%	45.6%	15.7%	3.9%
17	授業の始まりなど、時間を守るよう心がけていますか。	高校	4.5	4.4	60.9%	32.8%	3.9%	2.4%
		中学	4.7	4.5	57.3%	36.3%	6.0%	0.4%
18	クラスやクラブ活動でいじめを感じたことがありますか。	高校	1.3	1.2	1.2%	3.6%	11.4%	83.7%
		中学	1.3	1.2	2.1%	3.6%	12.1%	82.2%
19	(18)でいじめを感じたことがあると答えた人だけ答えてください。それは解消されましたか。	高校	3.9	3.4	60.0%	0.0%	0.0%	40.0%
		中学	4.0	3.0	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%

生徒学校評価アンケート集計結果に対する分析

1, 2 は昨年より指数が少し下がったがまず問題ない数値で、昨年同様アンケートを実施した高校2年・中学2年の生徒たちが日々の前向きに取り組んでいることが十分にうかがえる数値である。

3は新たに設けた項目。あればと思う学校行事を書いてもらった。11ページに記す。フォントが大きく、ゴシック体であるのは何度も書かれていたことを示す。最も多かった球技大会は以前にはあり、考えさせられるところだ。どれも今後の参考にしたい。

4の「予習・復習」の項目は、昨年より下がっているが、5と併せて考えると、課題・宿題に予習や復習が入っていると考えるべきようだ。4の解釈としては「自分で見つけてする予習・復習」が出来ていないということになる。

その点では、アクティブラーニングが叫ばれる中、やはり問題を見つけて解決する能力や勉強は必要で、今後の課題になる。今後のパソコンの使い方の指導の中で、指針を示せるのではないかと考える。

6, 7はすでに教師自己評価で取り上げて一定の分析をしたが、7は昨年の質問に替え「総合的に考えて授業に満足していますか」とした。「満足」という表現でハードルが高くなると予想をしたが、6, 7とも指数が同じように下がっていることから考えると、7も文言に影響されていないと見るべきだ。やはり向上する必要がある。

教師自己評価の分析の繰り返しになるが、「手応え」の確認、それに応じた授業の工夫が求められる。

8は、昨年とほぼ同じままで、指数が高くない。事前学習を学年・担任団で準備する必要があるのではないかと。

9, 10, 11は進路関係になり、昨年同様に高校生の方がもちろん意識が高い。

10は昨年同様、誰と相談するか記述回答とした。11ページに記した。内容はほぼ同じで、もちろん今年も『両親』の記述が一番多い。生徒たちはしっかり自分の進路を考え、アドバイスを適切に求めているという姿が浮かび上がる。

12, 13, 14, 15, 17は「規律正しい生活習慣」や「マナー」ということになるが、昨年と同様、本校生徒達がいかに真面目な生徒達であるかがよくわかるころだ。教師の実感にももちろん合致している。

因みに登下校時のマナーで、おしかりの電話をいただく回数も減ったようで、このまま皆無になることを目指したい。

16の教室の整理整頓・美化では、中学の指数の下がり方がやや気になるころ。心の教育の一環として、中高ともさらに指数の向上を目指したい。

18, 19は、いじめに関する質問項目。少数とはいえ19でD「いいえ」の回答があること自体が問題で、早速対応する必要がある。

NO	質 問		指標		A	B	C	D
			30年度	令和元年度				
20	あらゆる場面で人権尊重の意識を持って行動していますか。	高校	4.4	4.3	51.9%	37.9%	8.3%	1.9%
		中学	4.5	4.1	38.1%	52.7%	7.1%	2.1%
21	先生からハラスメントと感じることを受けたことがありますか。	高校	1.7	1.8	7.0%	10.0%	17.0%	66.0%
		中学	1.2	1.7	3.2%	10.7%	21.0%	65.1%
22	校則は守っていますか。	高校	4.6	4.5	61.4%	32.0%	4.4%	2.2%
		中学	4.7	4.6	63.0%	32.4%	3.6%	1.1%
23	校則に改善すべき点があると感じますか。	高校	(2.9)	3.9	55.8%	19.9%	12.4%	11.9%
		中学	(2.5)	3.6	45.2%	19.9%	16.7%	18.1%
24	悩み事があった場合、先生と相談していますか。	高校	2.4	1.9	8.7%	12.4%	26.0%	52.9%
		中学	2.3	2.0	7.5%	11.7%	23.1%	57.7%
25	悩み事があった場合、場合によってカウンセラーと相談していますか。	高校	1.3	1.2	2.9%	3.2%	3.6%	90.3%
		中学	1.3	1.3	3.6%	1.8%	6.4%	88.3%
26	自分自身の健康管理（食事・睡眠など）に注意していますか。	高校	3.9	3.9	37.4%	38.3%	17.5%	6.8%
		中学	4.0	3.6	29.9%	39.5%	21.4%	9.3%
27	校内の食堂や購買をよく利用しますか。	高校	3.2	3.7	40.0%	30.6%	18.7%	10.7%
		中学	3.3	3.9	39.1%	34.5%	18.1%	8.2%
28	図書室をよく利用しますか。	高校	2.3	2.0	12.4%	12.4%	22.3%	52.9%
		中学	2.1	2.2	12.1%	12.1%	29.5%	46.3%
29	自習スペースをよく利用しますか。	高校	2.6	2.5	20.4%	15.5%	18.7%	45.4%
		中学	3.0	2.9	21.0%	23.5%	28.5%	27.0%
30	校内の施設は充実していると思いますか。	高校	3.1	2.8	12.6%	35.7%	24.5%	27.2%
		中学	3.1	3.0	18.1%	35.6%	25.6%	20.6%
31	防災訓練にまじめに取り組んでいますか。	高校	4.0	3.8	33.0%	42.2%	15.8%	9.0%
		中学	4.3	4.0	33.1%	49.5%	13.5%	3.9%
32	校内にある防災器具(消火器)や救命器具(AED等)の場所を知っていますか。	高校	3.4	3.3	26.7%	35.0%	21.8%	16.5%
		中学	2.5	2.3	11.7%	16.7%	24.9%	46.6%
33	AEDの場所を示す張り紙が貼ってあるのを知っていますか。	高校	3.7	3.5	45.9%	16.3%	11.9%	26.0%
		中学	3.1	2.9	29.9%	16.4%	8.5%	45.2%

3、学校行事で、あってほしいと思うもの

球技大会 合唱コンクール、音楽鑑賞、演劇鑑賞

文化祭で食品販売（調理模擬）、文化祭での活性化、文化祭の後夜祭

クラブ活動の発表等のイベント、研究活動するための授業時間、未成年の主張のような発表会

体育祭の応援合戦、仮装してのリレー、借り物競走、謎解きゲームなど

プール実習、登山、ハイキング、マラソン大会

遠足の増加、勉強合宿、定期考査後の映画、和光館で発表する機会

他学年や他コースとの交流会、海外研修の複数化、他の学校との交流会

有名人を招いたキャリア講座

10、先生以外で進路(中学は学習相談)の相談をする相手(「友達」等、実名は書かない)

家族、両親、母、姉、妹、父

友達、塾の先生、家庭教師、先輩

20 は人権尊重の意識に関するもの。中高とも 4 以上で大きな問題は無いが、機会ある毎にしっかり教育していく必要がある。C,D は 0 でなければならないであろう。

21 は、A,B の数値は少ないものの、あがっていること自体、心せねばならないところ。これも新学期早々のアンケートであぶり出す必要がある。

22, 23 は、関連した項目。昨年度は改善すべき校則があればと記述させたが、昨年でかなり把握できたので今年は 23 で「～感じますか」とだけにした。記述となると、あるように感じていても～具体的に書けない～と言うこともあってか低くなったが、その点、今年は数値が上がったという印象だ。校則は生徒指導でも恒常的に検討が加えられているので、実情にあうようこれからも気をつけていきたい。

24, 25 の「悩み」の相談は先生・カウンセラーともあまりない。「悩み」は無いに越したことは無いが、ある場合、対処の難しいのが「悩み」。D の非常に高い%は気になるところで、来年度、誰と相談するのか記述回答にする必要があるようだ。

26 に関して、中学の 3.6 という指数は、年齢のせいもあらうと思われる。

27, 28, 29 は生徒の学校施設の利用状況。

27 は、食堂の業者が入れ替わり、指数が平均 0.55 向上している。好評といえそう。

30 の「施設の充実」度は相変わらず高くない。一昨年度の記述で生徒が欲している施設を尋ねたが、具体的には「プール」があがったものの他にこれといったものは無く、「施設の充実」というより「更新」と言うべきことであったよう。中長期計画に基づいた計画が求められるところだ。

31 の防災訓練への取り組みがやや低くなっている。惰性で取り組むことのないよう指導が必要だ。

32, 33 の消化器や AED の場所の認知は、特に中学で一昨年へ逆戻りしている。中高ともだが、入学時のオリエンテーションで組み入れるなど、認知度を上げる必要がある。

(本年度の分析結果のまとめと 次年度目標へ反映すべき項目) ~ A c t i o n ~

本年度も高校・中学のそれぞれのアンケート指標に大きな差がないことから、高校・中学共通として記す。

- (一) 生徒達の能動的な学習が導き出せるよう、ICT 器機やパソコンの導入に伴った新たな試みを考えていく必要がある。
- (二) 講堂での講話などに際して、事前学習の徹底をはかる必要がある。
- (三) 生徒の安全意識を高めるという点で、防災訓練への取り組み、また消火器や AED の場所の認知など、万一の場合への対処を生徒一人一人がしっかり自覚するような工夫していく必要がある。

令和元年度 学校関係者評価

四天王寺高等学校・四天王寺中学校後援会
会 長 藤 井 薫

本年度の学校関係者評価は、以下のとおりです。

学校評価検討委員会は、PDCA サイクルを教育現場に応用し、より良い教育活動を行うため、アンケートの質問に工夫を凝らし、より効果的に教師及び生徒の感想を把握するよう努めており、その試みは評価できる。また、同委員会の掲げる教育目標及び中期的目標については異論がない。

教師自己評価集計結果は、ほぼ昨年度の評価と変わらないが、以下の点を指摘したい。

まず、授業内容に関する評価が生徒による評価と一致しないことについては、教師も改善の必要性を感じておられるようなので、引き続き自助努力と工夫を期待する。

つぎに、今般、新型コロナウイルスや地震・風水害などの問題が顕在化しているので、個々の教師も、十分な危機管理意識を保つよう留意されたい。

また、働き方改革の中で教師に情熱を維持していただくために、宿題や課題の量や質に関して、教師の負担が大きくなりすぎていないか注意していただきたい。

生徒学校評価集計結果では、授業内容等に関する設問等、昨年より若干評価が下がる項目があった。昨年、一気に評価が上がったことからすれば理解できる範囲にとどまるが、授業進度や宿題や課題の量や質に満足しているかなど具体的な設問をもうけて、精緻な分析を行ってもらえればありがたい。

なお、本校は、現在、ICT 導入期にあることから、次年度以降は、その成果や問題点に関する設問をもうけていただきたい。

近年、本校は、ICT、英語教育の充実、学習環境の改善などの面において、学校と教職員が一体となり、保護者の厳しい意見を正面から受け止め、長足の進歩を遂げてきたと評価するが、急激な改革は教師の負担となり、生徒の戸惑いを招くこともある。教師、生徒のみならず、保護者や卒業生の意見も取り入れて、さらなる改革に取り組んでいただきたい。

以上